

文化庁
京都へ

京都府次世代等古典芸能普及促進公演

片山慶次郎十三回忌追善

第四十四回

能にしたしむ会



www.kashujuku-noh-kyoto

能 野 宮 合掌留

片山 伸吾

宝生 欣哉

狂言 惣 八

茂山 七五三

茂山 千之丞

茂山 逸平

仕舞 頼 政

片山 九郎右衛門

仕舞 江 口 キリ

観世 鍊之丞

能 小 鍛 冶

片山 峻佑

福王 知登

中村 宜成

令和4年 9月4日 日午後1時30分開演 [午後12時45分開場] 於 京都観世会館

主宰/花習塾 後援/京都府

チケット/S席(正面指定)8,000円 A席(脇・中正面指定)6,000円 B席(二階一列目指定)5,000円 C席(二階自由)3,000円

取扱所・お問い合わせ/花習塾事務局 Tel & Fax: 075-494-6665 e-mail: tsumugi@kashujuku-noh.kyoto

京都観世会館 Tel: 075-771-6114

チケット予約は
こちらから ⇒



花習塾 web site

www.kashujuku-noh.kyoto



京都観世会館

www.kyoto-kanze.jp

※6月22日(水) 10時より予約開始

御挨拶

いつも『能にしたしむ会』を御支援賜りましてありがとうございます。
父・慶次郎が亡くなりましてはや一回り。私も五十代半ば、息子も
高三となりました。こうしてほぼ毎年自身の会を催しておりますと、
尚更月日の流れの速さを実感します。
追善会とは銘打ちましたが、十三回忌ともなると故人を偲ぶという
よりも、父に安心して見てもらえるような催しが出来ればと思います。
父を御存知の皆様には、そんな父の気持ちを照らし合わせて頂き、
今回の舞台を御高覧くださいれば幸甚に存じます。
皆様の御来場をお待ち申し上げます。

片山 伸吾

曲目解説

【野 宮】 晩秋の夕暮れに旅の僧が、嵯峨野の野宮の旧跡を訪れると、一人の女が現れる。僧の問いかけに女は、今日九月七日は、光源氏がここに六条御息所を訪ねた日で、昔を偲ぶ日であると答える。一六条御息所は、皇太子妃として世に時めいた方であったが、夫に死別し、その後寵愛を受けた光源氏からも見捨てられて、寂しい身の上となったのだった。都に居ても仕方のない身の御息所は、伊勢の斎宮へ下るため、この野宮に籠もり精進をする。光源氏もさすがにつらいことと思い、今一度の対面をするべく野宮へ赴くが、精進のための家屋に入ることばままならず、歌に思いを託す。しかし絶望を味わい、思いを断ち切るためにここに入った御息所の心を翻すことは出来るすべもなかったのである。—

— そう物語った女は、実は自分こそが御息所であると答え、鳥居の陰に隠れて消える。
僧は所の者に詳しい話を聞き、夜もすがら跡を弔っていると、牛車に乗った御息所の亡霊が現れ、賀茂の祭の折りに、光源氏の正妻である葵上との車争い(祭見物の場所争い)に敗れた様子などを再現し、妄執を晴らしてくれるように頼む。そして懐旧の思いにひとりながら舞を舞うが、依然として迷いから抜けられない我が身を顧みつつ、再び車に乗って去って行く。

「火宅」とは、衆生の生死流転する迷いの世界である三界を、燃え尽きる家に例えたもので、「火宅の門を出る」ことは、迷界を出て成仏することである。すなわち鳥居こそが現世との結界であり、御息所の魂は、なおもここを行き来する。果たして彼女の執心は晴れたのだろうか。

【惣 八】 が出家と料理人を召し抱えようと公示する。すると先頃まで料理人だった俄坊主と、最近まで出家であった「惣八」と名乗る料理人がやって来て雇われる。主人は僧には法華経を、惣八には鯛と鯉の料理を命じて奥へ入る。二人は互いに未熟な様子を見て助け合うことにするのだが……。

【小鍛冶】 不思議な夢を見られた一条帝は、橘道成を勅使として名工三条小鍛冶宗近に剣を打つように命じる。しかし相鑑を打つ優れた者がいないことに困り果て、神力を頼みに稲荷明神へ参詣する。するとその途中で一人の童子が声を掛けて来て、和漢の銘剣の威徳や故事を語り、また日本武尊の草薙剣の物語を聞かせ、自分が神通力にて力添えをするから安心して準備にかかれと言い残し、稲荷山へと消えて行く。

帰宅した宗近が支度をして待っていると、狐が現れ、自らが相鑑となって剣を打つ。やがて打ち上がった剣の表に「小鍛冶宗近」と、裏に「小狐」と銘を入れ、勅使に捧げて再び稲荷山へと帰って行くのだった。

ワキ(宗近)が活躍する場面が多く、注連縄を張り巡らしたいかにも神聖な刀鍛冶の現場にて祈願する様や、シテと交互に刀を打ち続ける場面は、非常に印象的で、この曲の最大の見せ場である。

チケットの御案内

S席(正面指定)	8,000円
A席(脇 中正面指定)	6,000円
B席(二階一列目指定)	5,000円
C席(二階自由)	3,000円

6/22(水)午前10時より予約開始

会場

▼駐車場あり(東隣)
最初の1時間500円
以降30分毎に200円



京都観世会館

京都市左京区岡崎内藤寺町44 地下鉄東西線「東山」駅下車 徒歩7分

チケット取扱所・お問い合わせ

■花習塾事務局
Tel & Fax: 075-494-6665
e-mail: tsumugi@kashujuku-noh.kyoto
■京都観世会館
Tel & Fax: 075-771-6114

チケットウェブ予約

■花習塾web site
www.kashujuku-noh.kyoto

■京都観世会館
www.kyoto-kanzei.jp



13:30

能 野 宮 合掌留

-Nonomiya Gasshodome-

前シテ/里の女 片山 伸吾
後シテ/六条御息所の霊 宝生 欣哉
ワキ/旅僧 茂山 逸平
アイ/嵯峨野の里人

笛 杉 市和 地謡 片山九郎右衛門
小鼓 吉阪 一郎 武田 邦弘
大鼓 河村 大 浦田 保親
味方 玄
後見 観世鏡之丞 田茂井廣道
青木 道喜 大江 信行
分林 道治 深野 貴彦
大江 広祐

休憩15分

15:45

狂言 惣 八 -Sohachi-

シテ/惣八 茂山七五三
アド/有徳人 茂山千之丞
アド/出家 茂山 逸平

地謡 井口 竜也

16:15

仕舞 頼 政 -Yorimasa-

シテ/源頼政の霊 片山九郎右衛門

仕舞 江 口 キリ -Eguchi-kiri-

シテ/江口の君の霊 観世鏡之丞

地謡 武田 邦弘
青木 道喜
古橋 正邦
橋本 忠樹
梅田 嘉宏

休憩10分

16:40

能 小鍛冶 -Kokaji-

前シテ/童子 片山 峻佑
後シテ/霊狐 福王 知登
前ワキ/三条小鍛冶宗近
後ワキ/ //

ワキツレ/勅使 中村 宣成
アイ/宗近の下人 茂山千之丞

笛 左鴻 泰弘 地謡 観世鏡之丞
小鼓 曾和 鼓堂 浦田 保親
大鼓 河村凛太郎 古橋 正邦
太鼓 前川 光長 味方 玄
分林 道治
後見 片山九郎右衛門 田茂井廣道
片山 伸吾 橋本 忠樹
大江 信行 梅田 嘉宏

追加

17:45 終了予定